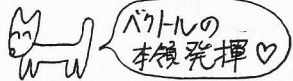


図形問題をベクトルで解こう (平面ベクトル編)



Point

- ① 何を示せばいいのか、目的をはっきりさせる。
- ② 自分の都合のよいようにベクトルを設定する。

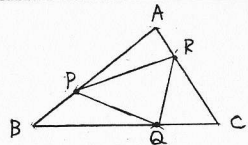
今回は、超重要な4問を紹介し、絶対にマスターしよう。

→ さらにも「whyからんベクトルがマズい」も常識としておきたい。

点が一致することの証明

A と B が一致する $\Leftrightarrow \vec{OA} = \vec{OB}$

$\triangle ABC$ の辺 AB, BC, CA を2:1に内分する点をそれぞれ P, Q, R とする。 $\triangle ABC$ の重心と $\triangle PQR$ の重心は一致することを示せ。



(解) $\triangle ABC$ の重心を G_1 , $\triangle PQR$ の重心を G_2 とすると

$$\vec{AG}_1 = \frac{1}{3}(\vec{AB} + \vec{AC})$$

$$\vec{AG}_2 = \frac{1}{3}(\vec{AP} + \vec{AQ} + \vec{AR})$$

$$= \frac{1}{3}(\frac{2}{3}\vec{AB} + \frac{1}{3}\vec{AB} + \frac{2}{3}\vec{BC} + \frac{1}{3}\vec{AC})$$

$$= \frac{1}{3}(\frac{2}{3}\vec{AB} + \frac{1}{3}\vec{AB} + \frac{2}{3}\vec{AC} + \frac{1}{3}\vec{AC})$$

$$= \frac{1}{3}(\vec{AB} + \vec{AC})$$

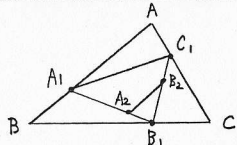
$\therefore \vec{AG}_1 = \vec{AG}_2$ よって $G_1 = G_2$ とする。

ポイント 始点を0にしても構いません。この場合、
 $\vec{OP} = \frac{\vec{OA} + 2\vec{OB}}{3}$, $\vec{OQ} = \frac{\vec{OB} + 2\vec{OC}}{3}$,
 $\vec{OR} = \frac{\vec{OC} + 2\vec{OA}}{3}$ と
 $\vec{OG}_2 = \frac{1}{3}(\vec{OP} + \vec{OQ} + \vec{OR})$ に
 代入すれば
 $\vec{OG}_2 = \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OB} + \vec{OC})$ に
 一致することがわかります。

平行であることを証明

$AB \parallel CD \Leftrightarrow \vec{AB} = k\vec{CD}$ と表せる

$\triangle ABC$ の辺 AB, BC, CA を2:1に内分する点をそれぞれ A_1, B_1, C_1 とする。 $\triangle A_1B_1C_1$ の辺 A_1B_1, B_1C_1 を2:1に内分する点を A_2, B_2 とすると、 $A_2B_2 \parallel AB$ を示せ



(解) $\vec{AB} = \vec{b}$, $\vec{AC} = \vec{c}$ とおく

$$\vec{A_2B_2} = \vec{AB_2} - \vec{AA_2} = \frac{1\vec{AB_1} + 2\vec{AC_1}}{2+1} - \frac{1\vec{AA_1} + 2\vec{AB_1}}{2+1}$$

$$= \frac{1}{3}\vec{AB_1} + \frac{2}{3}\vec{AC_1} - \frac{1}{3}\vec{AA_1} - \frac{2}{3}\vec{AB_1}$$

$$= \frac{2}{3}\vec{AC_1} - \frac{1}{3}\vec{AA_1} - \frac{1}{3}\vec{AB_1}$$

$$= \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{3}\vec{c} - \frac{1}{3} \cdot \frac{2}{3}\vec{b} - \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{3}(\vec{b} + 2\vec{c})$$

$$= \frac{2}{9}\vec{c} - \frac{2}{9}\vec{b} - \frac{1}{9}\vec{b} - \frac{2}{9}\vec{c} = -\frac{1}{3}\vec{b} = -\frac{1}{3}\vec{AB}$$

$\therefore A_2B_2 \parallel AB$

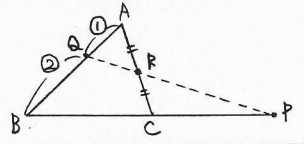
始点をAにすればいい!!

ポイント この問題はやはり始点をAにとるべきでしょう。別に0を始点にしても構いませんが...

3点が一直線上にあることの証明

A, B, C が一直線上にある $\Leftrightarrow \vec{AB} = k\vec{AC}$ と表せる。

$\triangle ABC$ の辺 AC を2:1に外分する点を P 、辺 BC を1:2に内分する点を Q 、辺 CA の中点を R とする。3点 P, Q, R は一直線上にあることを示せ。



(解) $\vec{BA} = \vec{a}$, $\vec{BC} = \vec{c}$ とおくと
 $\vec{BP} = 2\vec{c}$, $\vec{BR} = \frac{\vec{a} + \vec{c}}{2}$, $\vec{BR} = \frac{2}{3}\vec{a}$ より
 $\vec{PR} = \vec{BR} - \vec{BP} = \frac{\vec{a} + \vec{c}}{2} - 2\vec{c} = \frac{1}{2}\vec{a} - \frac{3}{2}\vec{c}$
 $\vec{PQ} = \vec{BQ} - \vec{BP} = \frac{2}{3}\vec{a} - 2\vec{c}$

ポイント Bを始点にするのが考えやすいと思います。Aを始点にすると外分点の公式が必要になります。

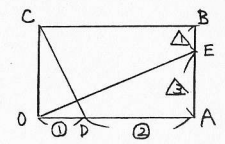
$\therefore \vec{PQ} = \frac{4}{3}\vec{PR}$ よって3点 P, Q, R は一直線上にある。

注 この結果から $PR = RQ = 3:1$ であることがわかります。
 注 なお、メネラウスの定理の逆"を用いて証明することもできます。つまり $\frac{QB}{AQ} \cdot \frac{PC}{BP} \cdot \frac{RA}{CR} = 1$ が成立するところから P, Q, R が一直線上にある。という証明です。あつオススメしません。やはりベクトルで解いてほしい。

垂直であることを証明

$AB \perp CD \Leftrightarrow \vec{AB} \cdot \vec{CD} = 0$ "垂直"とは"内積=0"のことば常識としておきたい。

$OA=3, OC=2$ であり長方形 $OACB$ がある。辺 OA を1:2に内分する点を D 、辺 AB を3:1に内分する点を E とすると、 $CD \perp DE$ であることを示せ。



(解) $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とおくと、 $|\vec{a}|=3, |\vec{c}|=2, \vec{a} \cdot \vec{c} = 0$... (*)

$$\vec{CD} = \vec{OD} - \vec{OC} = \frac{1}{3}\vec{a} - \vec{c}$$

$$\vec{DE} = \vec{OA} + \vec{AE} = \vec{a} + \frac{3}{4}\vec{c}$$

$$\therefore \vec{CD} \cdot \vec{DE} = (\frac{1}{3}\vec{a} - \vec{c}) \cdot (\vec{a} + \frac{3}{4}\vec{c})$$

$$= \frac{1}{3}|\vec{a}|^2 + \frac{1}{4}\vec{a} \cdot \vec{c} - \vec{c} \cdot \vec{a} - \frac{3}{4}|\vec{c}|^2$$

$$= \frac{1}{3} \cdot 3^2 + \frac{1}{4} \cdot 0 - 0 - \frac{3}{4} \cdot 2^2 = 3 - 3 = 0$$

$\therefore CD \perp DE$

この関係があるから、やはり $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OC} = \vec{c}$ とおくべきでしょう。
 AB を3:1に内分する点 $\frac{1\vec{OA} + 3\vec{OB}}{3+1} = \frac{\vec{a} + 3(\vec{a} + \vec{c})}{4}$ とおくこともできる。
 計算で垂直であることを確かめるとベクトルで便利

注 Oを原点とする座標を設定して解くこともできます。つまり $A(3,0), C(0,2)$ とおくと $D(1,0), E(3, \frac{3}{2})$ なら $\vec{CD} = (\frac{1}{3}, -2), \vec{DE} = (\frac{3}{4}, \frac{3}{2})$ より $\vec{CD} \cdot \vec{DE} = 0$ とわかります。